

老健・まつなみ

No.44 **5**月号 May

平成20年5月1日発行

■発行■

松波総合病院介護老人保健施設

岐阜県羽島郡笠松町泉町11番地

TEL 058-388-0322 FAX 058-387-7686

Eメール：rouken@matsunami-hsp.or.jp



特定医療法人 蘇西厚生会

理念

私たちは 地域住民の皆様に安全で質の高い医療・福祉を効率かつ継続的に提供する

基本方針

私たちは 地域中核病院を有する法人として 医療環境の変化に対応した質の高い保健・医療・福祉サービスの提供を通して 地域社会とともに発展を目指します

私たちは 患者様や利用者の方のプライバシーを守るとともに 権利を尊重し根拠に基づいた医療・福祉サービスを誇りを持って提供できるよう努力します
私たちは 経営の安定と組織の活性化を図ることにより 職員の働きがいと追求するとともに 職員の生活が安定し向上するよう努力します

老健運営方針

- ① 明るく健やかで 生きがいのある生活を送れるように 愛とヒューマニティと 思いやりの精神を持って実践する
- ② 医療の中で生きる喜びを感じ取れることと リハビリテーションとレクリエーションの 具現化を図る
- ③ 職員としての資質向上・運営への参加と 連帯意識を抑揚する



ボランティアの オカリナさん達が来所

笠松社会福祉協議会からのご紹介で、オカリナの演奏者3人が3月19日(木)午前10時30分から老人保健施設1階ホールで、「春がきた、春の小川、肩たたき、おぼろ月夜、埴生の宿」など昔懐かしい曲に合わせオカリナ演奏がありました。

オカリナさん達の施設慰問は今回で3回目であり、入所者の皆さんも食前に嚥下訓練をかねて「ふるさと、春がきた」など日頃から歌ってみえます。入所者の皆様も心待ちにしてみえました。中でも「おぼろ月夜」の・・・菜の花はたけに入り日うすれ見わたす山のかすみ深し・・・の歌、映画で有名になったビルマの豎琴の主題歌でもある「埴生の宿」などは入所者の皆さんもよくご存知のようで、オカリナに合わせて大声で歌ってみえました。最後に腕と口の運動を兼ねて、「肩たたきの歌」に合わせて左右の肩をたたきながら歌をうたってみえました。

オカリナの皆様大変お忙しいところ有難うございました。またの慰問をお待ちしております。

定期ミニコンサート

平成20年3月25日(火)、14時から定期のミニコンサートを開催しました。

今回も1月の時と同様、ソプラノ歌手の伴 真由子さんと、ピアニストの宮崎 有由さんをお招きし、季節の歌、クラシック、入所者様との交流を楽しみました。

「春よこい」、「春が来た」からスタートし、クラシック曲の優雅な空気に包まれたホールでは、ちょうど暖かくなり、桜が咲いた時期でもあることから、皆さん気持ちよさそうに、楽しそうにゆったりとお二人の歌声と演奏を聴いていらっやいました。伴さんの歌声に合わせて歌っていらっやる入所者様もみえ、耳に馴染んだ歌、小さい頃に歌った歌を懐かしく感じていらっやる様子でした。

その後、伴さんの掛け声の下、入所者様と一緒に「幸せなら手をたたこう」を手振りもつけて歌いました。始める前は、やってくれるだろうかと伴さん、宮崎さん、そして職員も不安に感じていましたが、曲が始まると皆さん楽しそうに手をたたいたり、足をならしたり、肩をたたいたり、隣の方の手を握ったりされており、とても明るい雰囲気でした。お二人も入所者の方の反応の仕方に驚かれていました。

最後は前回教わった手話を交えての「ふるさと」の合唱。手話を覚えてくれているだろうかとも思っていたのですが、入所者の方が歌に合わせて手を動かしてみえる光景はそんな心配を吹き飛ばしてくれました。前回行ったのは2ヶ月も前のことなのに、自然にリズムに合わせて手が動いている姿は、皆さんの「ふるさと」に対する思いの表れのような気がしました。

退場の際にはお二人とお話をしたり、握手をしたりする途中で涙ぐまれる入所者様もおみえになり、歌や音楽を通して良い交流ができたのではないかと嬉しく感じています。

「この前と衣装が違うね」とお二人に声をかける入所者様もみえ、お二人も嬉しく感じておられたようです。

次回は5/13(火)を予定しています。こうした活動を通して、少しずつ距離を縮めていけたらいいなと思っております。次回もお楽しみに☆



避難訓練及び消火訓練

介護施設では年2回夜間を想定した避難訓練及び消火訓練を実施しております。2回目の訓練は3月24日に老人保健施設職員32名、夜間警備会社社員参加の下で実施しました。火災避難訓練は11月、3月に実施しておりますが、職員の勤務交代体制により全職員に訓練内容を徹底するには難しいところがあります。今回は主に新しい職員さんを対象に現場確認班、放水班、夜勤者加勢消火班、避難誘導班、担架救助班、保護班など各班の業務を想定して訓練いたしました。



非常放送装置から突然「只今、3階北棟で火災発砲がありました確認願います・・・」と自動放送がされ、仮眠状態の警備員が表示板で発生地区を確認し、全館放送で状況確認依頼と夜勤者全職員を徴集し、班ごとに初期消火、放水、救助などの訓練をしました。火災発生現場確認時には「リネン庫が火事だ！と大声で叫ばないと聞こえないよ」と先輩から注意を受けたりし、各班の行動目的をお互いに確認しあっていました。

最後に中庭で消火器の特長、消火方法などの説明を受け、水消火器による消火訓練をしました。訓練を通して消火器の使用に対する不安感もとれたのではないかと思います。



今年のお花見は3月31日から1週間、施設入所者様のお花見期間として計画を立て季節感を味わっていただきました。

笠松町の本曾川堤防に沿って桜並木がある奈良津公園の桜は満開状態で、多くの方が花見をしながら楽しくお弁当を食べたりしていました。堤防には菜の花が咲きみだれ、満開の桜並木の中でヒヨドリ、雀たちが花とたわむれている様子を見て、「ほら、ほら、桜の花の蜜を吸っているのか鳥がいるよ」と声を掛け合っておられ方から「さくら さくら 野山も里も見わたす限り・・・」と歌われる方もみえました。

～花見～

帰りにはイカ焼き、広島風お好み焼、飴やビールなどの屋台が建ち並び前を通過すると、食欲をそそるような臭いで「ああ、イカ焼きとビール食べたい」と話される方がみえ日ごろと異なる食欲あう盛な一面も拝見できました。

今回のお花見などを通して、利用者様に少しでも季節感を味わっていただければ幸いとおもいます。



5・6月 家族介護教室のご案内

5月7日(木) 事務から [医療、介護の現状と今後]について開催いたします。

6月4日(木) 介護職員から
時間：午前11：00～
場所：老人保健施設1階リハビリ室

5月の家族介護教室は高齢者やそのご家族を支える制度について、皆さんに知っていただく機会になればと思っております。多くの方の参加をお待ちしております。



5月 行事予定

日	月	火	水	木	金	土
				1	2  カラオケ教室	3  憲法記念日
4  みどりの日	5  こどもの日	6  振替休日	7  カラオケ教室慰問 家族介護教室	8	9  カラオケ教室	10  ボランティア
11  お母さん ありがとう	12	13  ミニコンサート	14	15	16  カラオケ教室	17  ボランティア
18	19	20  お茶会	21  誕生日会	22	23  カラオケ教室	24  ボランティア
25	26	27  お茶会	28  双葉幼稚園慰問	29	30	31  少林寺 ボランティア

予定は変更になる場合がありますので、ご了承下さい。